

安全衛生

リコーは「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という三愛精神^{*1}に基づいて創業された企業であり、経営理念・行動指針^{*2}に「社会の発展と個人の幸福をはかる」という人間主体の経営を掲げています。リコーの安全衛生活動は、三愛精神および経営理念・行動指針に基づき、つねに社員一人ひとりの安全を守り、健康的で明るい職場環境を提供し続けることを基本にしています。

*1 5ページを参照。

*2 5ページを参照。

基本方針

「経営理念」の実践を通じて、社員の安全と健康の確保、並びに快適な職場環境の形成を強く認識し、全社を挙げて、その実現に取り組む。

行動指針

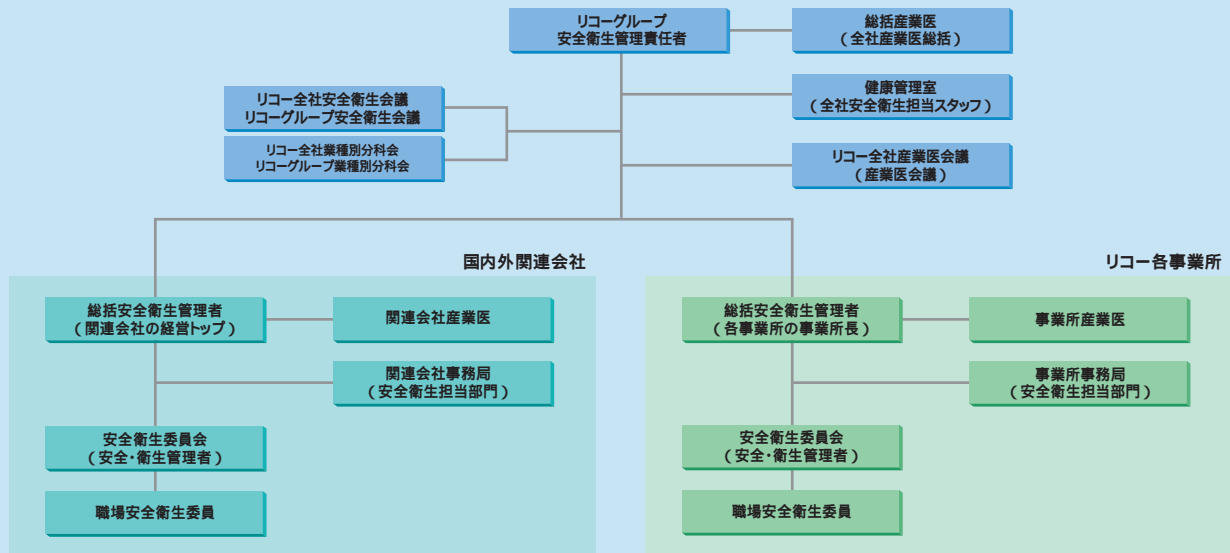
安全衛生に関する国内外の関係法規を遵守するとともに、自主的な目標を設定し、その実現に努める。社員の安全と健康の確保、並びに快適な職場環境の形成を目指す過程で、自主的な安全衛生推進体制の維持・改善を継続的に展開する。

安全衛生教育を通じて、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会の安全衛生活動に関心を持ち、自ら行動できるよう、啓発と支援を行う。

あらゆる国や地域において、社会との連携を密にし、積極的な情報開示、安全衛生活動の助成・支援によって、広く社会に貢献する。

この方針・指針は制定中のため、変更する場合があります。

リコーグループ安全衛生管理組織(構想図)



活動の特色

リコーの安全衛生活動の特色は、第一に「安全」および「衛生」それぞれの活動のバランスにあります。製造業においては、生産系事業所が活動の中心になりがちですが、非生産系事業所にも同様のウエイトを置き、メンタルヘルス、カウンセリング、健康教室など、精神衛生や健康増進のための活動を実施しています。

第二の特色として、ネットワークの活用があげられます。リコーがビジネスとして得意としているデジタルネットワーク技術を活用し、安全衛生情報のデータベース化・ネットワーク化を実現。これにより、社員へのタイムリーな啓発活動や、現場でのすみやかな対応、ノウハウの水平展開などが図られます。



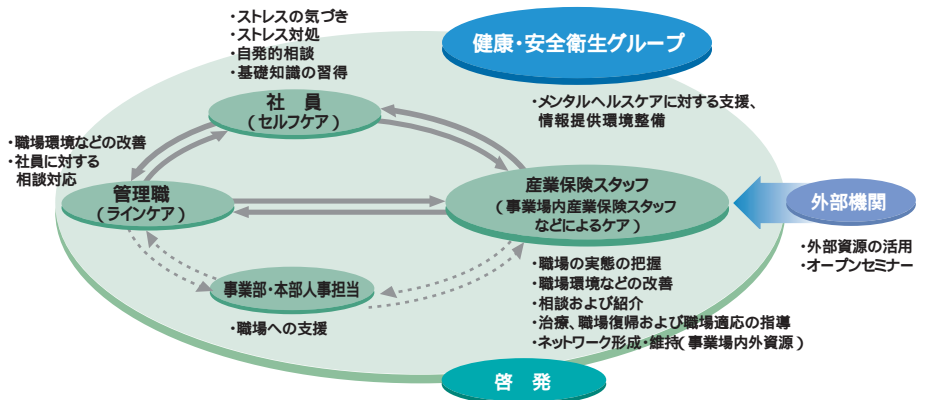
安全衛生データベース

メンタルヘルスクエア

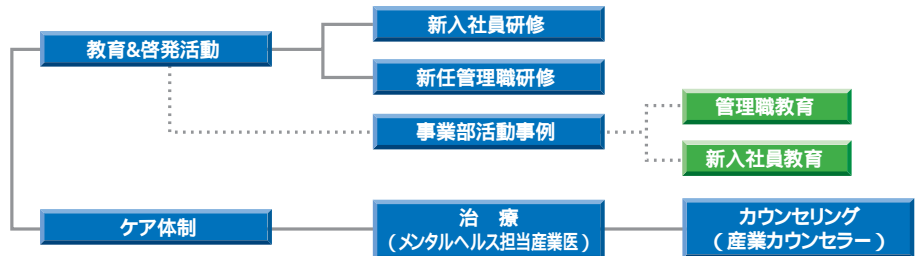
心の健康に関する社会的関心は非常に高まっており、また厚生労働省が発表した「健康日本21」や「労働の場における心の健康づくり対策について」などの政府指針でも、メンタルヘルスクエアについてのしくみや基盤体制の構築が求められています。リコーでは、社員の精神衛生に配慮し、1975年より産業カウンセラーを、1986年からは、それに加えて精神科医を各事業所に巡回配置してきました。さらに2000年度からは、政府指針の実施を緊急課題と位置づけ、現行制度の強化、しくみの見直しなどを図っています。また、メンタルヘルスクエアについて学会で発表*するなど、積極的な対外活動も展開しています。

* 2001年6月22～23日「第8回 日本産業精神保健学会」で発表。

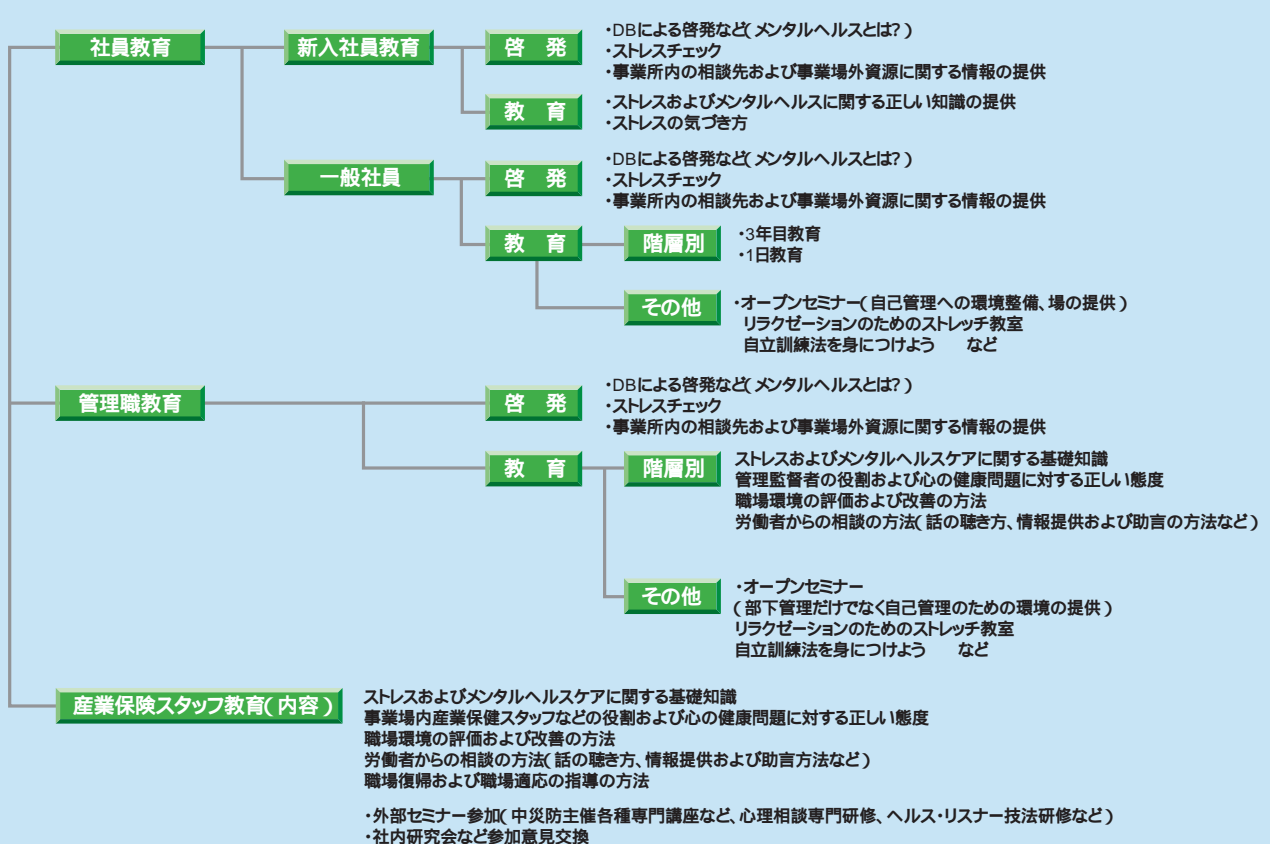
メンタルヘルスクエア体制(構想図)



メンタルヘルスクエア 現行体制



メンタルヘルスクエア教育カリキュラム(構想図)

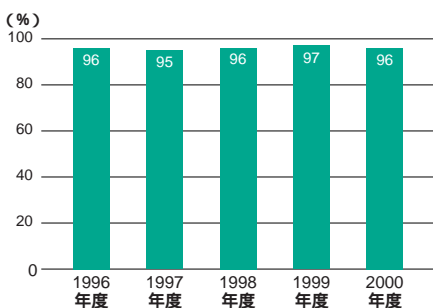


カリキュラムの内容は一部です。

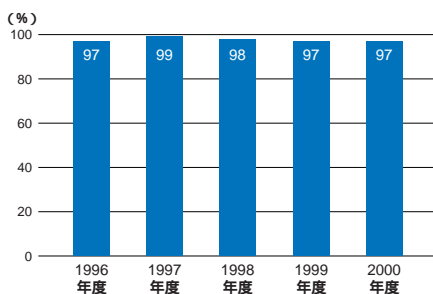
健康診断・人間ドック

リコーでは、40歳未満の社員に対して健康診断およびミニドック(35～40歳未満)を実施し、疾病の予防と早期発見を目指しています。また、社員の高齢化に伴う健康管理施策として、40歳以上の社員または管理職社員に対しては人間ドックの診断を義務づけ、よりきめ細かな健康管理体制を敷いています。健康診断や人間ドックの有所見者に対しては、再検査・精密検査・経過観察・投薬治療などのフォローアップ体制も確立されており、疾病の予防・発見・早期対策についての努力を続けています。健康管理への配慮は、社員だけでなく、その家族にも及び、配偶者を対象にした人間ドックも実施しています。

健康診断受診率



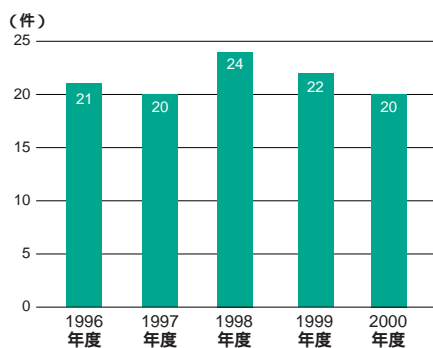
人間ドック受診率



安全活動

リコーは、労働災害低減のために、生産事業所を中心にした社員の自主的意志による現場密着型の安全活動を展開しています。具体的には、産業医による職場巡回、ヒヤリハット活動を通じた災害事故防止策の検討、災害事故発生時の徹底した再発防止策の検討と事業所内への水平展開、新入社員の導入安全教育、安全意識高揚のための啓発活動などがあげられます。

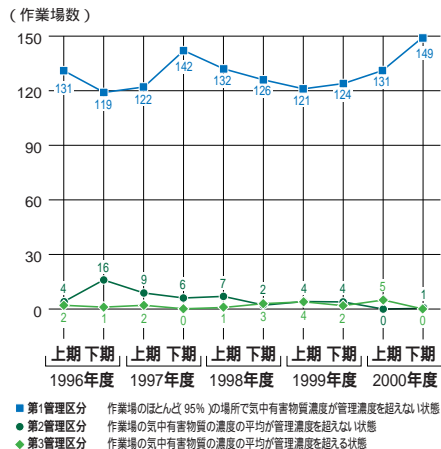
全社労働災害推移



作業環境測定

リコーグループは、業務による健康障害防止のために、作業環境測定を継続的に実施しています。法的に定められた物質の測定だけでなく、対象外の物質であっても健康影響に配慮する必要がある場合には測定を行い、作業環境改善に努めています。

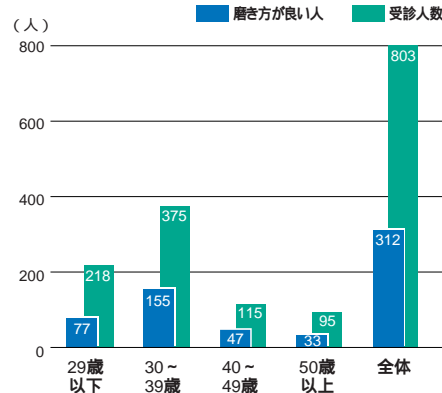
作業環境測定(リコーおよび国内のリコー関連会社)



健康教室

生活習慣病などの予防と改善を目的に、外部の専門家を招いて「健康教室」を定期的に開催しています。リコー三愛グループ健康保険組合のデータによると、歯科にかかる治療費がもっとも多かったため、2000年7月～2001年1月に「あなたの歯は健康ですか? ～80歳になっても、自分の歯で食事を楽しむために～」を開催。歯のチェックや正しい磨き方の指導を行いました。

磨き方が良い人数



啓発活動

社員一人ひとりの安全衛生への意識向上を図るため、リコーでは、社内報や社内ネットワークを活用した健康管理ニュースで啓発活動を行っています。四季折々にテーマが設定され、身体のメカニズムの基本的な知識や、疾病予防のヒントなどが掲載されています。



社内ネットワークを活用した健康管理ニュース